

<h1>KSK 令和2年6月号</h1> <h2>川身協事務局通信</h2>	<p>公益財団法人 川崎市身体障害者協会 川崎市障害者社会参加推進センター 川崎市障害者スポーツ協会 TEL044-244-3975 FAX044-246-6943 E-mail : zksk@nifty.com ホームページ : http://kawashinkyo.org</p>
--	---

- ☆令和2年度川崎市身体障害者福祉大会中止案内
- ☆令和2年度関東甲信越静岡ブロック「友愛の集い」開催中止について
- ☆重度障害者福祉タクシー利用券交付事業
- ☆令和2年度川崎市身体障害者ボウリング大会開催延期のお知らせ
- ☆川崎市身体障害者協会及び川崎市障害者スポーツ協会賛助会員入会のお願い

令和2年度 川崎市身体障害者福祉大会 中止案内

例年、この時期に開催のご案内をさせていただいております、身体障害者福祉大会ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し、中止することといたしました。
なお、各団体よりいただいた要望事項は下記の通りです。本会より、川崎市へ提出いたします。

◎ 令和3年度へ向けての要望事項

視 覚	【要望事項】 視覚障害者の安全な歩行のため交通信号システムの改善と日常生活用具シグナルエイドの基準単価の12,000円への引き上げを要望します。
	【提案理由】 川崎市では、シグナルエイド(歩行時間延長信号機用小型送信機・川崎市の基準単価は現在7,000円)に対応した信号機が東京都や横浜市に比べ非常に少ない現状にあります。 また、最近開発されたスマートフォンのアプリケーションソフト「信GO!」に対応する歩行者支援サービス(歩行者信号情報提供サービス:青信号や赤信号などの信号情報をスマートフォンで音声や振動で確認ができる受信機能及び歩行者横断支援サービス:押しボタンがある交差点で、スマートフォンからの押しボタンの操作ができる横断要求の送信機能)のための歩行者支援装置は神奈川県内でまだ整備されていません。(現在の設置箇所は静岡県静岡市・三島市、宮城県仙台市・利府町・大崎市、千葉県四街道市) 視覚障害者が安心して安全に外出をするために、神奈川県公安委員会と連携し、シグナルエイドの増設と「信GO!」に対応する歩行者支援装置の面的整備を要望します。
聴 覚	【要望事項】 緊急事態宣言の時でも情報保障の充実を要望します。
	【提案理由】 今年に入ってから、私達の生活は大きく変わりました。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが起これば外出自粛を余儀なくされました。体調面・精神面で相談したいと思っても私達はコミュニケーションという壁が立ちます。 初期段階では電話のみの対応、行政からの発表も手話通訳はなく、手話を言語とする私達は孤立したようなものでした。特に、高齢聴覚障害者には、手話での情報保障が必須です。 また、高齢聴覚障害者は持病を抱えている人も多く、判断を誤ると命に関わります。聞こえない事で命を落とさないよう緊急事態宣言の時であっても、手話での情報保障が十分に行われるよう要望します。

脊 損	<p>【要望事項】 「障害者移動サービス券（仮称）」交付制度の実施を要望します。</p>
	<p>【提案理由】 私たち脊椎損傷者は殆どが車いすユーザーです。現在、重度障害者である私たちに対して「重度障害者福祉タクシー利用券」や「川崎市ふれあいフリーパス」が交付され、また「タクシー料金の割引」や「福祉キャブ運行」制度など、移動手段の確保対策が行われております。 公共交通機関がバリアフリー化されたことや移動手段・介護制度の充実によって、車いすユーザーであっても日常生活の利便性や社会参加の促進・生活圏の拡大が図られQOLの向上が進みました。 現在「重度障害者福祉タクシー利用券」と「川崎市ふれあいフリーパス」を同時に利用することが認められておらず、また、他都市のように「自動車燃料費」として利用する事もできません。利用者のライフスタイルに合わせ、タクシー利用・バス利用・ガソリン購入のいずれにも使用できる「障害者移動サービス券（仮称）」制度へと改め、包括的に重度障害者の外出を支援する施策を実施するよう要望します。</p>
	<p>【要望事項】 ストーマ装具が災害時に、即、使用できるように自宅近くの避難所に個人用の装具を保管できる場所を確保するよう要望します。</p>
オストミー	<p>【提案理由】 一昨年の回答が「防災倉庫に備蓄している」との事でしたが、防災倉庫から各避難所への移送が、道路の不通や交通渋滞により速やかに出来ない状況があります。更に届いたものがオストメイトに合った装具かどうかは分かりません。保管場所としては、ストーマ装具は医療器具なので、小中学校の医務室等に保管場所を確保して頂ければ問題はありませぬ。 私達オストメイトは、常に、人口肛門・人口膀胱から便や尿が排出されていてストーマ装具がなければ、日常生活が出来ない状態です。赤ん坊のおむつと同じものです。 そのため災害時の対応として、非常持ち出し袋に入れておく装具とは別に、親戚や知人のところに置いてもらっています。しかし、災害時にはどの様な状況になるか分らず、一番確実に確保できるのは、身近な避難所に保管しておけば、即、使用可能です。 身近な避難所にストーマ装具の保管場所を確保していただければ、私たちが責任を持って管理するよう致します。平成 22 年度から要望として出していますが、進展がありません。早急に保管できるよう要望します。</p>
	<p>【要望事項】 福祉バスにヒアリングループの設置を要望します。</p>
難 聴	<p>【提案理由】 ヒアリングループは、日本では「磁気ループ」と呼ばれていましたが、現在は海外諸国で使われているヒアリングループの名称に統一されました。ヒアリングループとは、中途失聴・難聴者（以下 難聴者）の聞こえを支援する装置です。仕組みは、マイクなどの音声信号を磁気誘導アンプに通し、床下や部屋の周りに敷設したループアンテナ（多芯ケーブル）内で誘導磁界を発生させ、音声磁場を作り、難聴者は補聴器や人口内耳を“Tモード”に切り替えることで、音声信号として周りの騒音・雑音に邪魔されずに、目的の音・声だけを正確に聴き取ることが出来ます。 今回の要望は、このヒアリングループの車両搭載用（バス・自動車等）に開発された支援機器を、川崎市「福祉バス」に設置していただきたく要望します。特に難聴者の場合は、バスガイドがマイクで話しても聴き取れないため、たいへん困っています。移動</p>
	<p>【要望事項】 福祉バスにヒアリングループの設置を要望します。</p>

	<p>車内で難聴者の聴取力を向上させる目的で「福祉バス」にヒアリンググループの設置を要望します。</p>
腎 臓	<p>【要望事項】 障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院・送迎の支援をしていただくよう要望します。</p>
	<p>【提案理由】 透析者は透析治療のため週 3 回通院しております。最近では、長期透析による合併症の重症化や重複化、患者の高齢化、糖尿病性腎症を原疾患とする透析患者の増加などから、自己移動困難透析者や介護が必要な患者が増加しています。 一方で家族が高齢になり通院送迎は難しくなっています。病院・透析施設が独自に送迎を実施している状況がありますが、自己移動困難者で特に車椅子利用となると病院では送迎対応も困難となっています。それゆえ、通院手段として個人的には、一般タクシーや福祉タクシーまた福祉有償運送サービス事業所等を利用している患者が増加しております。特に車椅子利用者は福祉車両利用となり、介護・介助料が加わり、料金の負担が高くなっています。そのための生活支援や通院支援の拡充が急務です。 通院送迎政策において、自己歩行困難な透析患者が車椅子でも安心して通院ができるよう、利用者の経済的並びに精神的な負担の影響がなく安心して利用できるよう福祉タクシー券の増枚等、通院を保障する体制の公的な整備をしていただくよう要望します。</p>
川身協	<p>【要望事項】 障害を理由とする差別の解消のための施策の推進を要望します。</p>
	<p>【提案理由】 先般、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が施行されましたが、障害に関する規定は「障害を理由とする差別を不当な差別と定義し、不当な差別的取扱いをしてはならない。」としているのみであり、その解消に向けた具体的な取り組み・施策は明らかにされていません。障害者権利条約が規定する「障害に基づく差別」を不当な差別として定義すること、具体的な差別禁止規定や合理的配慮規定を設けること、間接差別への対応等、具体的な取り組み・施策を明らかにし、その推進を要望します。</p>

令和 2 年度関東甲信越静ブロック「友愛の集い」開催中止について

9 月 19 日に千葉県で開催を予定していましたが、「友愛の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者並びに関係者の方々の健康と安全を最優先に考え、中止となりました。



重度障害者福祉タクシー利用券交付事業



新型コロナウイルス感染症対策のため、令和 2 年度分の交付に限り、4 月に申請した時と同じ枚数を交付する申請期限を 7 月末に延長します。ただし、障害者手帳の交付が 5 月以降の場合は、交付月以降の枚数の交付となります。



令和 2 年度 川崎市身体障害者ボウリング大会 開催延期のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会情勢を受け、神奈川県の要請（令和 2 年 8 月 31 日（月）までのイベント等自粛要請）を鑑み、令和 2 年 7 月 18 日（土）に予定しておりました、令和 2 年度川崎市身体障害者ボウリング大会の開催を 9 月以降に延期することといたしました。参加を楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解をいただけますようお願いいたします。なお、延期とした標記大会の実施等につきましては、川身協事務局通信等にてお知らせいたしますので、その際はぜひとも参加をご検討いただけますようお願い申し上げます。

☆ 川崎市身体障害者協会賛助会員入会のお願い ☆

当協会は、川崎市内の身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行い、身体障害者の自立更生及び社会参加と福祉向上に寄与することを目的として活動をしています。当協会の趣旨・活動にご賛同いただき、賛助会員(個人、法人、団体)としてご支援くださるようお願い申し上げます。

個人会費(年会費) 1口 5,000円
法人・団体会費(年会費) 1口 10,000円 ※何口でもご入会いただけます。

※個人会員の方は、所得税の税額控除の対象に、法人・団体会員の方は、特定公益増進法人に対する寄附金の対象になります。

◎賛助会員ご入会お申し込み方法

川身協事務局宛にご連絡をお願いします。折り返し「賛助会員入会申込書」を送付致しますので、必要事項をご記入のうえ、下記までご返送下さいますようお願い致します。
会費の納入方法については、お申込みいただいた時点でご案内いたします。

《問い合わせ》:公益財団法人 川崎市身体障害者協会
〒210-0834 川崎市川崎区大島1-8-6 南身館3F
TEL 044-244-3975
FAX 044-246-6943 E-mail: zksk@nifty.com

☆ 川崎市障害者スポーツ協会賛助会員入会のお願い ☆

川崎市障害者スポーツ協会では、事業活動の趣旨及び目的にご賛同いただける法人、個人又は団体の皆さまに対して賛助会員制度を設けています。

当協会の事業活動にご賛同いただき賛助会員ご入会についてご協力をお願い申し上げます

個人会費(年会費) 1口 1,000円
法人・団体会費(年会費) 1口 10,000円 ※何口でもご入会いただけます。

◎会員サービス

- (1) 協会が定期並びに不定期に発行する刊行物の提供
- (2) 協会が行うオリジナル調査、研究等の報告書の提供
- (3) 協会が所有する図書、資料等の閲覧及び貸し出し
- (4) 国、県、市及び各種関係機関が実施する事業等に関する情報の提供



◎賛助会員ご入会お申し込み方法

川崎市障害者スポーツ協会宛にご連絡をお願いします。
折り返し「川崎市障害者スポーツ協会 賛助会員入会申込書」を送付致しますので、必要事項をご記入のうえ、下記までご返送下さいますようお願い致します。
会費の納入方法については、お申込みいただいた時点でご案内いたします。



《問い合わせ》 川崎市障害者スポーツ協会
〒210-0834 川崎市川崎区大島1-8-6 南身館3F
TEL 044-245-8041
FAX 044-246-6943



発行人 神奈川県障害者定期刊行物協会

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 3F 横浜市車椅子の会内

編集人 公益財団法人川崎市身体障害者協会事務局

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-8-6 南部身体障害者福祉会館 3F

頒価 10 円